

令和6年度 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの分析

河内長野市立高向小学校 6年生

【 全国学力・学習状況調査について 】

【 国語 】

概要

大阪府の平均正答率を8ポイント、全国の平均正答率を6.3ポイント上回っている。知識・技能を問われる問題において、正答率が高かった。一方で、記述式の問題では、大阪府・全国よりも正答率が低いことが課題である。

特に成果が見られた問題例

②一(1)目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力が高い。

②三 漢字を文の中で正しく使うことができている。

③四 与えられた読書記録の感想から、その人が学んだことを見出すことができている。

特に課題が見られた問題例

②二 取材メモをもとに、目的や意図に応じて、条件に合わせてまとめることに課題がある。

③三 人物像や物語の全体像を捉え心に残ったことを、条件に合わせてまとめることに課題がある。

【 算数 】

概要

全国の平均正答率を14ポイント上回っている。すべての問題において(特に図形領域において)、全国の平均正答率よりも上回っていた。

特に成果が見られた問題例

①(1)持っている色紙の枚数を、問題場面の数量の関係を抑え、式に表すことができた。

③(2)円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さを正しく捉えることができた。

③(3)ボールがぴったり入る箱について、球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係を正しく捉え、式に表すことができた。

④(3)道のりと時間の情報だけで、どちらが速いかを判断し、その理由を記述する問題の正答率が、全国より19.6ポイント高かった。

特に課題が見られた問題例

⑤(3)折れ線グラフを読み取る記述式問題。解答の条件を満たして記述できていないものがあった。

【 すくすくウォッチ 理科 】

概要

大阪府の平均正答率を6.9ポイント上回っている。知識・技能、思考・判断・表現ともに、大阪府の平均正答率より高く、特に知識・技能は7.0ポイント上回っている。

特に成果が見られた問題例

①(2)光の性質について、日光の集め方であたたかさが変化する問題の正答率が100%であった。

②(4)①②振り子の運動についての正答率が高い。特に、振り子の周期が変化する条件について正しく理解している。

特に課題が見られた問題例

①(4)白く見える湯気と、無色透明の水蒸気を、混同して考えていると思われる解答が多かった。

②(3)②電磁石を強くするために、「電池の数を増やす」という解答が多く、つなぎ方についての記述が抜けており、解答が不十分であった。

【 すくすくウォッチ わくわく問題（教科横断的な問題） 】

概要

大阪府の平均正答率を8ポイント上回っている。その中でも、資料の情報を整理して伝える力が、平均正答率よりも8.5ポイント高い。

特に成果が見られた問題例

①(1)100文字以上の文章を読み取り、その特徴に合う自転車を選ぶ問題で、95ポイントを超える正答率があった。文章と図を関連付けて正しく捉える力が高い。

①(3)自転車に関する困りごとを見出し、その困りごとを解決するための自転車を考え、文章で書く問題で90ポイントに迫る正答率があった。理由や根拠を明確にして自分で考えたことを相手に伝える力が高い。

特に課題が見られた問題例

③(3)興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えることについて、90ポイントを超える正答率があった。しかし、実際のポスターの記述では、文章のみで記述されているものであったり、グラフのみで書かれているものもあったりと、解答の条件は満たし、正答とはなっているが、絵や図、表や効果的な文字を用いたポスターとはなっていない解答もあった。

【 学力・学習状況調査及びすくすくウォッチのアンケート 】

○肯定的な回答が多かったアンケート項目

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・テレビや新聞等でニュースを見ている。
- ・話し合いをするとき、友だちの意見を最後まできいている。
- ・読んでいてわからなくなったときは、もう一度読み直してみる。
- ・友だちと協力するのは楽しい。
- ・家の中にホッとする場所がある。

⇒5年生からの連続した様々な取り組みにより、友だちと助け合い認め合う関係性が築けてきており、自分の夢を素直に語れる安心できる集団へと成長している。

○課題が見られたアンケート項目

- ・その時間に学んだことについて、ふり返りをしている。
- ・話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている。
- ・自分の考えをノート等書いている。
- ・あなたには、困ったときに相談できる友だちがいる。
- ・自分の考えを積極的に発言している。

⇒学力的な知識は力を持っているが、思考力に課題がある。特に、自分の考えを深め、文章にまとめたり言葉にして発言したりすることに苦手意識を持っている。

令和6年度 すくすくウォッチの分析

河内長野市立高向小学校 5年生

【 国語 】

概要

大阪府の平均正答率を11.1ポイント上回っている。ほとんどの問題の正答率が8割をこえている。

特に成果が見られた問題例

8(1)示された文の内容を理解し文の内容を正しく捉え、表現が異なる同じ意味の文を選ぶことができた。

11相手や目的に応じて「できました」など敬体を用いた適切な言葉に書き直し、文を整えることが得意である。

特に課題が見られた問題例

5故事成語「矛盾」の意味を知らない児童が多く、正しい意味を選ぶことができなかった。

10二つの文を一つの文に書き直す問題。「しかし」を使った文章を、「…が」、「…けど、」を使って意味を変えずに一文で解答することに課題がある。

【 算数 】

概要

大阪府の平均正答率を12ポイント上回っている。しかし観点別にみると、知識・技能は16.6ポイント高いが、思考・判断・表現は0.8ポイントであった。

特に成果が見られた問題例

1(2)データを二つの観点で分類した表から、正しく内容を読み取ることができた。

2(1)表や会話の内容から伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□、△を用いてその関係を式に表すことができた。

特に課題が見られた問題例

1(1)図形の性質を活用した道のりの測定や、問題文の条件を満たした道のりの計算ができなかった。

1(3)図形の面積の求め方を説明することが難しい。そして解答できた場合でも、条件を満たして答えていない解答も見られた。

【 理科 】

概要

大阪府の平均正答率を0.9ポイント上回っている。特に思考・判断・表現については、3.2ポイント高かった。

特に成果が見られた問題例

①(2)光の性質について、日光の集め方であたたかさが変化することをよく理解している。

①(3)水の性質について、加熱したときに水が変化する現象をよく理解している。

特に課題が見られた問題例

①(1)太陽の沈む方角についての理解が不十分であった。

②(1)電気を通すものは、すべて磁石につくものを考えている解答が見られた。

②(6)与えられた図や会話から、地球は北がS極の磁石であることを読み取ることができていない。そのことが読み取ることができても、適切な言葉で表す力にも課題が見られる。

【わくわく問題(教科横断的な問題)】

概要

大阪府の平均正答率を5.7ポイント上回っている。その中でも、会話から読み取る問題(大阪府平均正答率より13.6ポイント高い)や、図や表から読み取る問題(大阪府平均正答率より7.1ポイント高い)については、大阪府平均より有意に高いが、文章から読み取る問題は、大阪府平均正答率に比べ上回ったポイントは1.8ポイントで、大きな開きはなかった。

特に成果が見られた問題例

③(3)興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えることについて、90ポイントを超える正答率があった。この問題は、自分で考えたことを絵や言葉を使って工夫してポスターにする問題である。新聞づくりや、ロイロノートでのプレゼン、動画作りなどの学習の成果だと考える。

特に課題が見られた問題例

②(3)もっと楽しんでもらえるようなダンスを作るための工夫を、3つの条件に合う内容を考え、記述する問題において、3つすべての条件を満たした解答は40ポイントしかなかった。文章と図・表を関連付ける力に課題がある。

【 すくすくウォッチのアンケート 】

○肯定的な回答が多かったアンケート項目

- ・自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している。
- ・自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している。
- ・頑張りやである。
- ・家の人と、その日の出来事について話をしている。
- ・あなたは、困ったときに相談できる先生がいる。
⇒学校だけでなく、家庭でも意欲的に学習に取り組むことができている。
また、家の人や先生とコミュニケーションを取ることができている。

○課題が見られたアンケート項目

- ・自分の考えをノート等にも書いている。
- ・文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている。
⇒指示されたことはできるが、自分で考えて生み出したり探したりすることや、粘り強く考えたり、深く調べたりすることに課題がある。

【 6年生全国学力・学習状況調査と、5・6年生すくすくウォッチの結果を受けて 】

(1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- 「伝え合うこと」の効果に重点を置いた指導をしていきます。
 - ・例えば算数においては、理解を深める効果をねらい、「図(考え方)・立式・答え」をペアで確認し、自分の意見を相手に伝えるなどのペア学習を工夫する。
 - ・多角的なものの見方、考え方が身に付く効果をねらい、ロイロノートの提出箱で画面共有を行い、友だちの様々な考えに出会う機会をつくる。
 - ・伝えるために自分の思考を見直す・整理する効果をねらい、表現活動に「条件に合わせて書くこと」を意図的に取り入れる。字数制限や使用する言葉の指定など、スモールステップで「条件」に正しく応える意識を高める。
- 問題に対して興味関心をもち、自ら進んで学びを深められるような授業づくりを行います。
 - ・思考のもととなる知識の定着を図る。
→フラッシュカードやe-ライブラリのドリル学習などでの習熟。
 - 総合的な学習の時間において、各教科の学びを活かし、知識・技能を「使って、考える」場、考えたことを話す、文章として書く、図や絵、グラフなどで「表現し、伝える」場を設定する。
 - ・「なぜ」「どうして」と疑問をもち、意欲的に課題解決に臨めるような導入の工夫をする。
 - ・疑問を疑問のままにしない場として、調べ学習など課題に応じて「ひとり学習」の時間をつくる。

(2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと (お家の人と一緒に読みましょう。)

○ 宿題や自主勉強は、時間を決めて、集中して取り組みましょう。

宿題や自主勉強をする時に、テレビを見ながら、お菓子を食べながらなどの、「ながら勉強」をしていませんか？ 短い時間で終わらせようとあせってしまって、適当で雑な内容のノートを書いていませんか？ それでは、せっかくやっても、脳が記憶するところまで届きません。集中していないので、九九や漢字などを間違っただま何回も練習してしまうこともあります。本当にもったいないですよ。



例えば、算数の学習で九九の6、7、8の段を間違えて覚えてしまうと、「計算も文章問題も、考え方も式も正しいのに、答えはいつも間違ってしまう」という残念なことになります。漢字はどうでしょう。漢字は、3年生までに習った漢字を組み合わせでできているものが多いので、簡単な漢字の書き順や読み方を正しく覚えていれば、難しい漢字になっても読み方や意味が予想出来るのです。簡単なものをしっかり覚えておけば、楽にできることが増えて、お得ですよ。

集中するって難しそうなら、「ちょっと深呼吸して、ていねいにする」と覚えておくといいですよ。

○ コミュニケーション力は、「相手の思いを聞きとる力」>「自分の思いを伝える力」

自分の思いを積極的に発言することができたら人とのコミュニケーションも上手いくだろうし、自信がついて、「困った時に相談できる友だち」もできそう…でも、自分の意見を伝えるのって難しいですよ。あなたに、「コミュニケーション力をつけたい!」という気持ちがあるなら、第一歩目を踏み出すことはできています。次は、「リスペクト」です。あなたが相手を尊重して、思いを最後まで聞くことができれば、自然と相手も「あなたの意見は?」と聞きかえしてくれます。それなら、自分の思いも、ぐっと話しやすくなりますよね。

コミュニケーションは、互いの思いや考えを聞き合い、理解することから始まります。授業中の発表や友だちと交流する機会を生かして練習し、伝え合う力を身につけていきましょう。



(3) 保護者のみなさまにご協力いただきたいこと

毎日のように、多くの新しいことを経験するのが子どもたちの日常です。一日の中で一定の時間、気持ちを切りかえ落ち着いて学習ができる力は、生涯に渡ってその子を助ける力となります。

以前は SNS や YouTube 動画などについて、「お子さまが事件事故に巻き込まれることがないよう」とお話をさせていただきましたが、加えて、お子さまの生活と成長の基本が守られるよう、ご家庭でも基本的な生活習慣と、各種メディアの上手な使用についてお話いただければと思います。

